

町会・まち協に関する  
アンケート報告書  
(やお市政だより令和4年10月号掲載)

令和5(2023)年3月

八尾市

# 目次

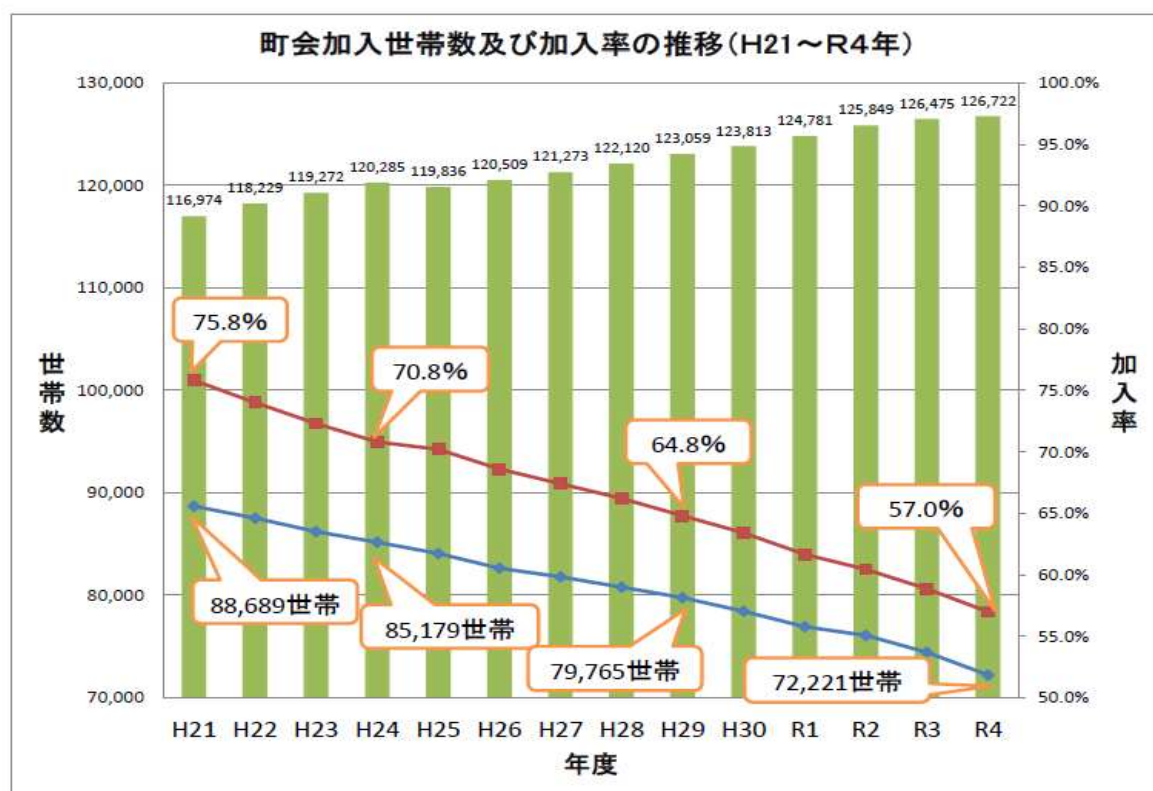
<b>I. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査期間 .....	1
4. 調査方法及び回答方法 .....	2
5. 回収状況 .....	2
6. 調査結果の表示方法 .....	2
<b>II. 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者属性 .....	3
① 性別（任意） .....	3
② 年代 .....	3
③ 町会の加入歴 .....	4
④ お住まいの地域（小学校区） .....	5
⑤ お住まいの形態 .....	6
2. 町会に加入する（した）きっかけについて .....	7
3. お住まいの地域での町会の活動について .....	8
4. 町会からの退会や未加入者が増えている理由について .....	10
5. 今後の町会活動はどこに力を入れるかについて .....	12
6. まち協の活動への参加について .....	14
7. 校区まちづくり交付金の活用について .....	16
8. 「わがまち推進計画」について .....	17
9. 全体考察 .....	19
<b>III. 自由記述</b> .....	<b>20</b>
<b>IV. 調査票</b> .....	<b>24</b>

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

現在、少子高齢化やライフスタイルの多様化などにより、町会の加入率が減少しています（下図参照）。市では、八尾市自治振興委員会（※）と協力しながら、町会加入促進の取り組みなどを進めています。町会のあり方などについても今後検討が必要になると考え、その一環として、町会加入や活動などに対する市民の皆さんのご意見をお聞きするために、アンケート調査を実施しました。

※八尾市自治振興委員会…昭和26年4月に全市的組織として結成され、令和4年5月現在、市内全域で746町会で構成された市内最大の住民組織として、さまざまな町会活動や行政とのパイプ役を果たしています。同委員会と本市は連携しながら、地域のまちづくりを進めています。



### 2. 調査対象

八尾市民

### 3. 調査期間

令和4年9月20日から令和4年10月31日まで

#### 4. 調査方法及び回答方法

【調査方法】 市政だより令和4年10月号（9/20発行号）及び市ホームページ

【回答方法】 郵送、またはインターネット（以下QR）による回答

#### 5. 回収状況

・配布数 市政だより発行部数 138,000部（126,000世帯+12,000事業所）

・有効回答数 ①郵送：364通 ②QR：1630通 合計 1994通

※統計学的な有効回答数について、市政だより発行部数の138,000部を全体数とし、許容誤差を5%、信頼度を95%、回答比率を50%とした場合、必要な回答数は384となります。当アンケート調査は、2000通近くの回答が得られたことから、統計学上の有効性は確保されており、今後の検討の参考資料となり得るものです。

#### 6. 調査結果の表示方法

・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

また、回答者数（N）は、無回答が含まれていないため、各設問で数値が異なります。

・複数回答が可能な設問の場合、選択肢ごとの回答者数が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計は通常100.0%となりません。

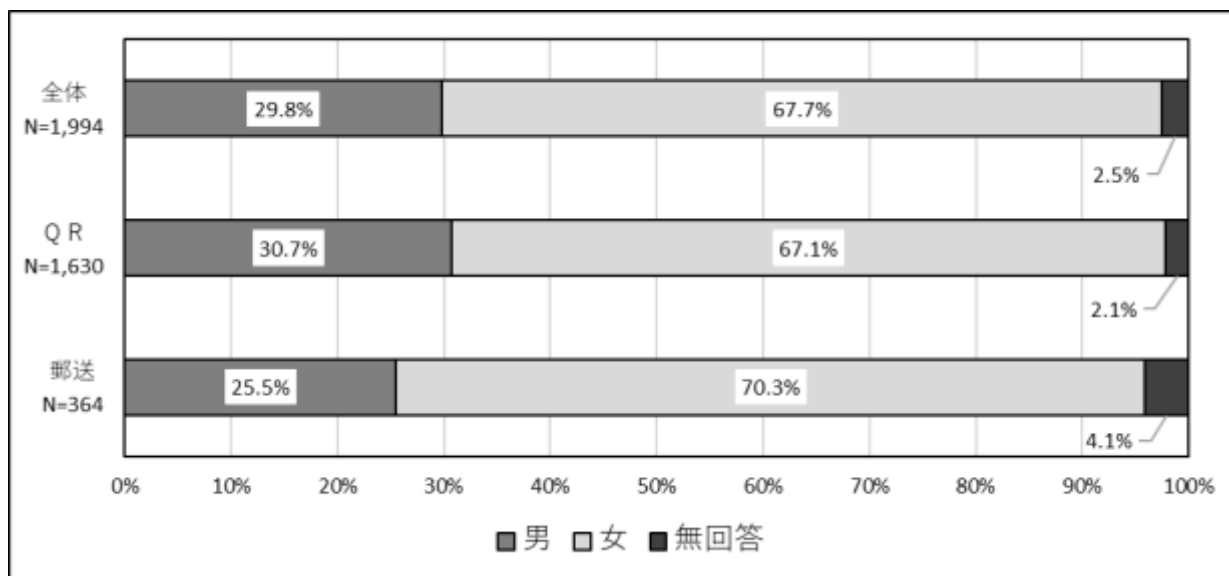
## II. 調査結果

### 1. 回答者属性

◆ 1. 回答いただく方について以下の項目にお答えください。

①性別（任意）（男・女）

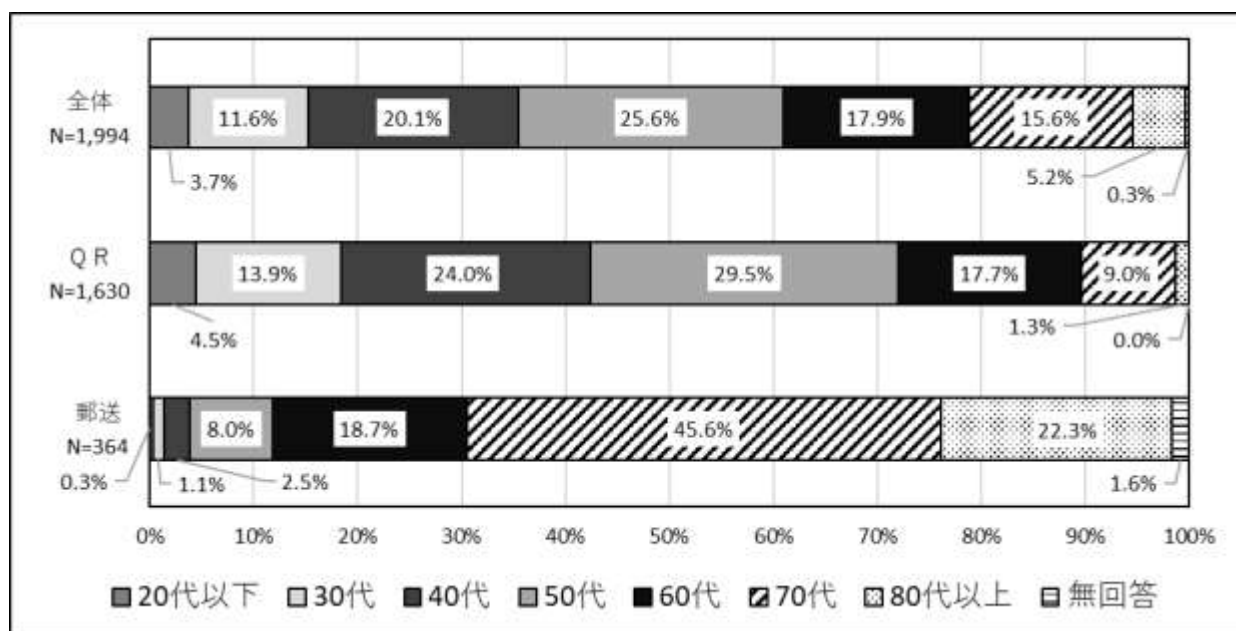
女性が全体で7割弱を占めていますが、郵送回答の方がその傾向が強くなっています。



②年代（○印は1つ）

1. 20代以下 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代 7. 80代以上

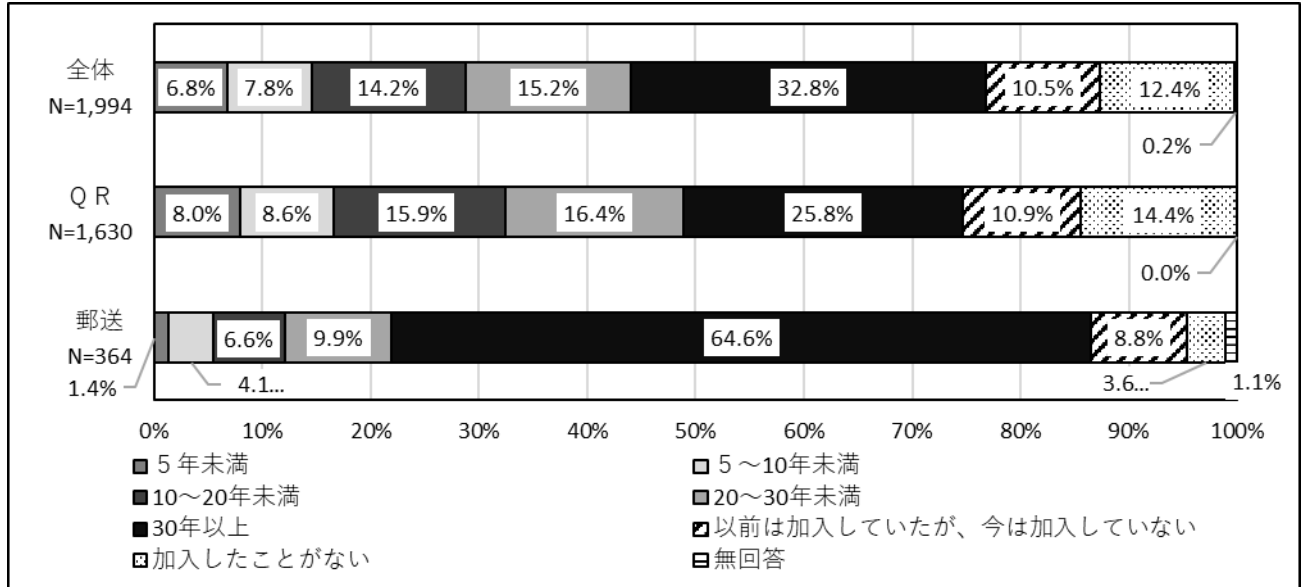
QR回答は50代、40代、60代、30代の順で多くなり比較的年代が分散しています。一方郵送回答では70代が5割弱を占め、次いで80代、60代となり、50代以下の世代は1割強となっています。



③町会の加入歴（○印は1つ）

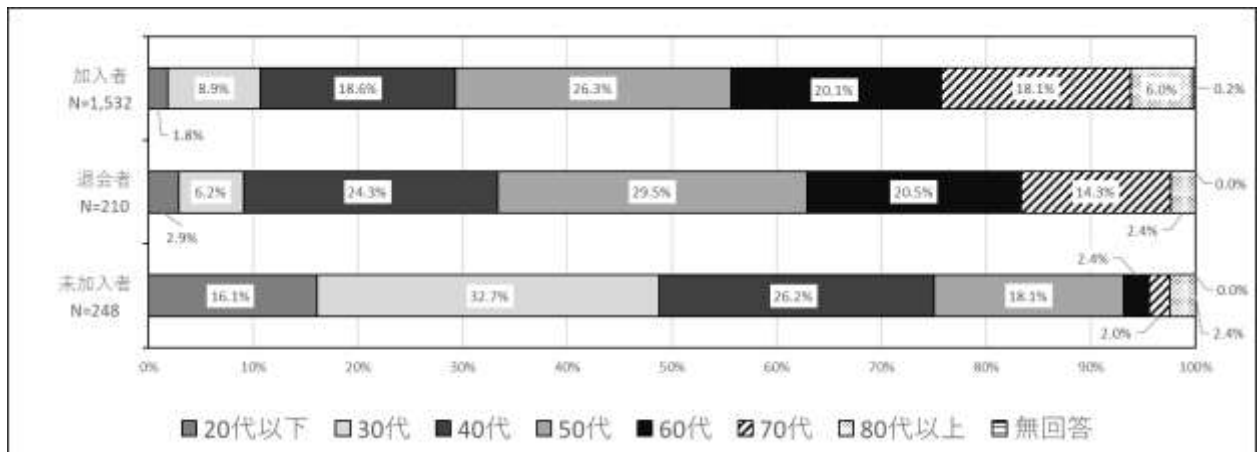
1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～20年未満 4. 20～30年未満  
 5. 30年以上 6. 以前は加入していたが、今は加入していない 7. 加入したことがない

QR回答は「30年以上」が最も多く、その他の加入歴は一定分散しています。郵送回答では「30年以上」が6割強を占めています。また、全体及びQR回答では、回答いただいた8割弱の方が、郵送回答では9割弱の方が町会に加入されています。



【年代別】

年代別でみると、「加入者」「退会者」とともに、40代～70代の割合が高くなっており、20代以下と80代以上の割合が低くなっています。一方、「未加入者」では、20代以下～50代の割合が高く、60代～80代以上の割合が低くなっています。

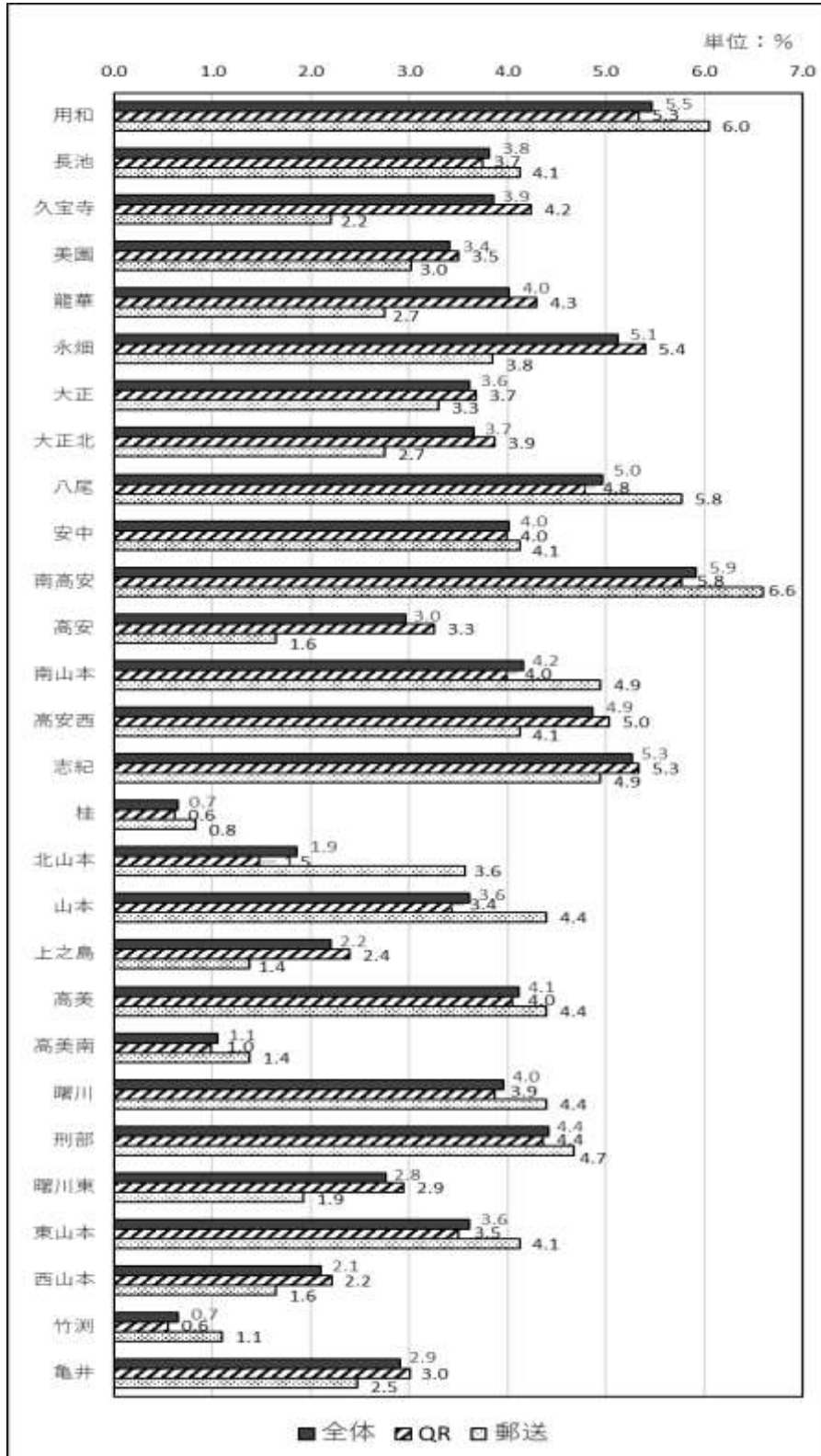


※「加入者」「退会者」「未加入者」については、本報告書4ページの「③町会の加入歴」の回答者よりそれぞれ算出しています。（次ページ以降も同様）

- 加入者：「1. 5年未満」「2. 5～10年未満」「3. 10～20年未満」「4. 20～30年未満」「5. 30年以上」  
 ○退会者：「6. 以前は加入していたが、今は加入していない」  
 ○未加入者：「7. 加入したことがない」

④お住まいの地域（小学校区） ※不明な場合は町名  
 （ ）小学校区または（ ）町

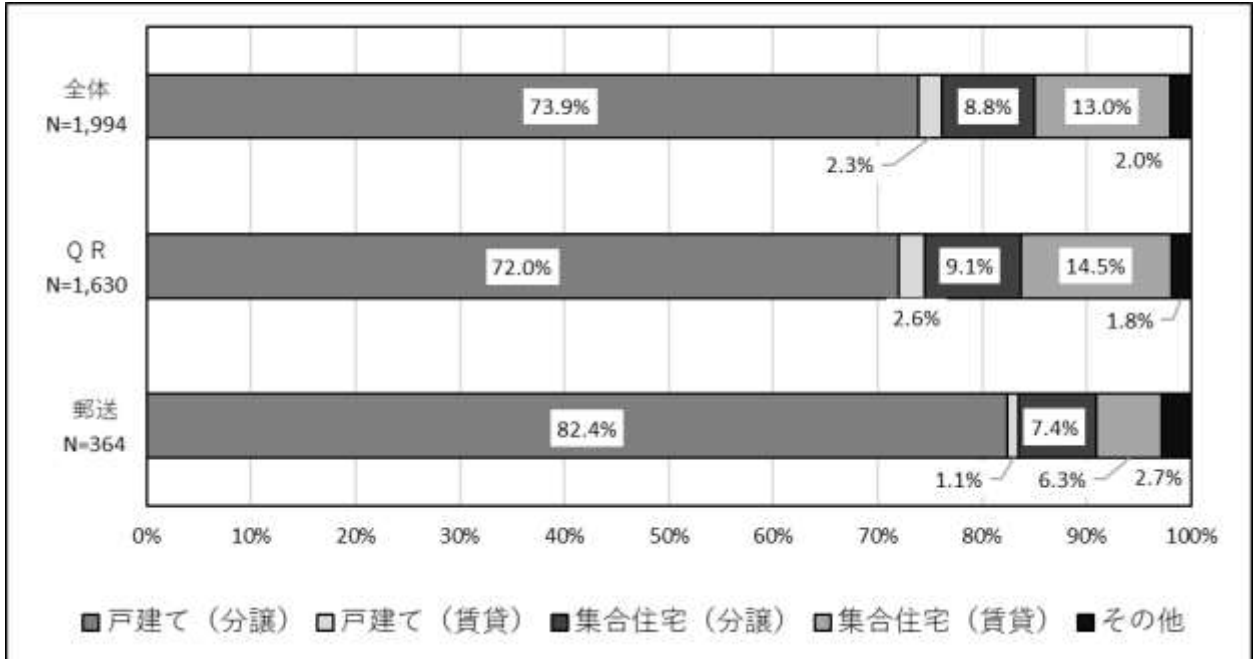
下のグラフは、全回答数に対する校区毎の割合を示したグラフとなっており、南高安、用和、志紀、永畑、八尾、高安西校区から多くの回答をいただきました。また、久宝寺、龍華、高安校区でQR回答が郵送回答を大きく上回っており、北山本校区では郵送回答がQR回答を大きく上回っています。



⑤お住まいの形態（○印は1つ）

1. 戸建て（分譲） 2. 戸建て（賃貸） 3. 集合住宅（分譲） 4. 集合住宅（賃貸）  
5. その他（ ）

全体及びQR回答で「戸建て（分譲）」が7割強を占めていますが、郵送回答では8割を越え、その傾向が強くなっています。

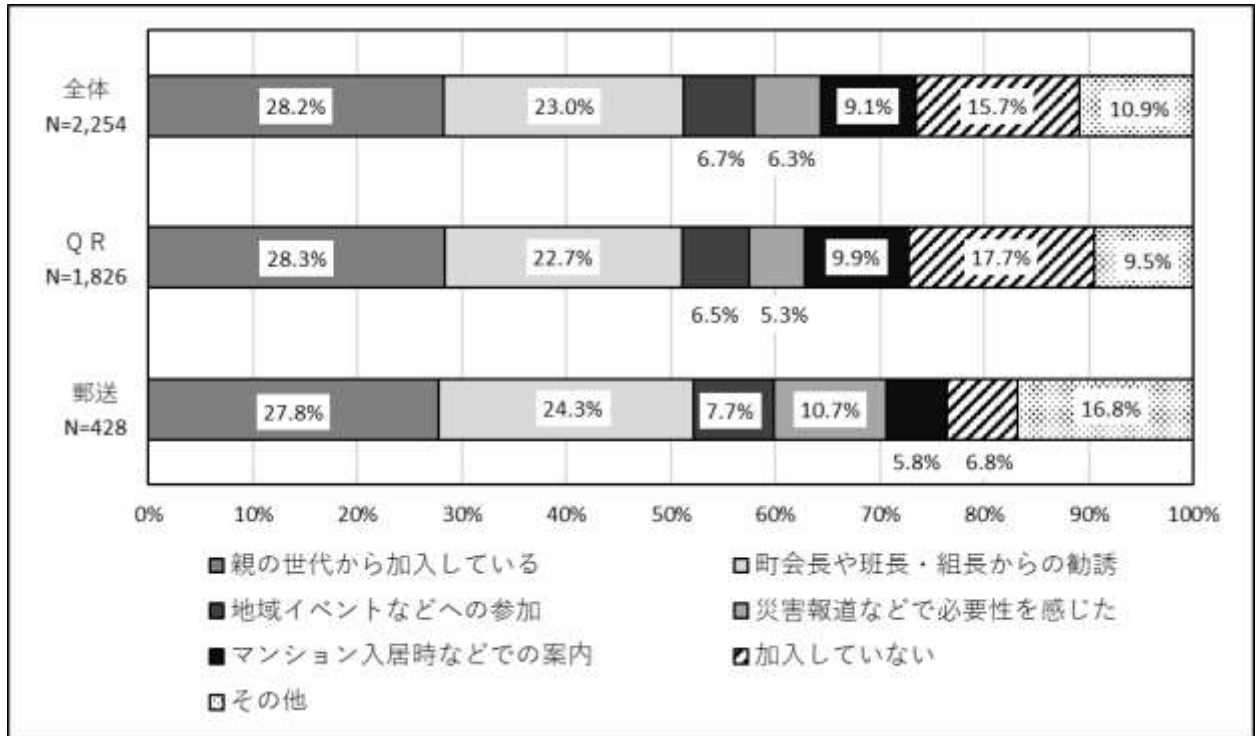




◆Q1. 町会に加入する（した）きっかけは何ですか。（複数選択可）

- 1. 親の世代から加入している
- 2. 町会長や班長・組長からの勧誘
- 3. 地域イベントなどへの参加
- 4. 災害報道などで必要性を感じた
- 5. マンション入居時などでの案内
- 6. 加入していない
- 7. その他

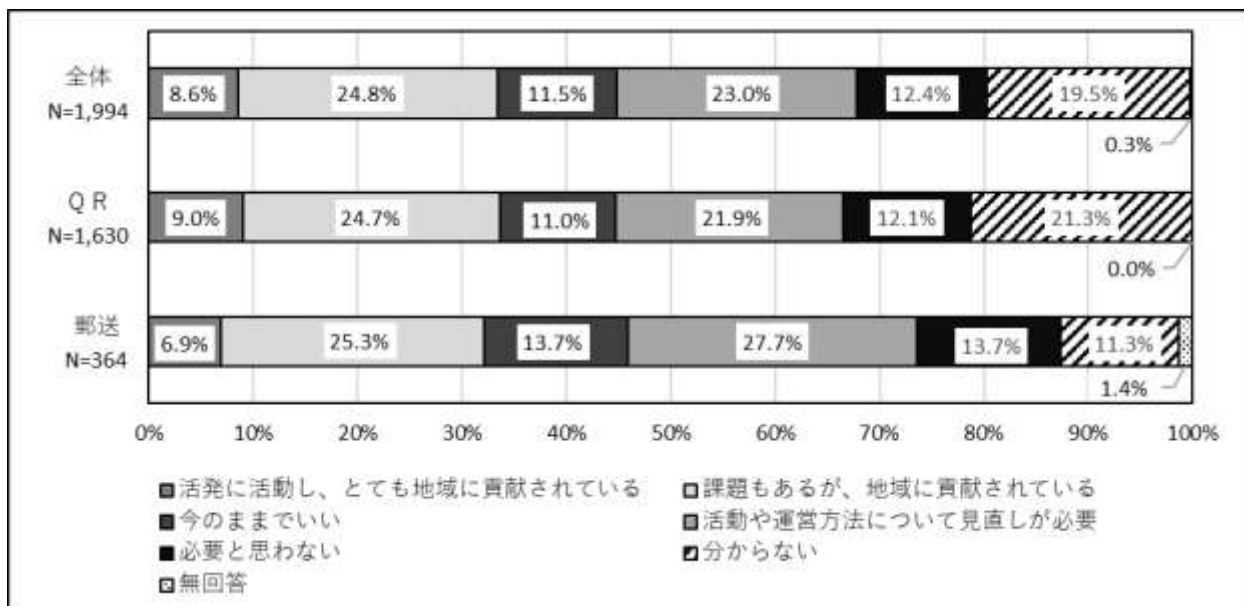
「親の世代から加入している」と「町会長や班長・組長からの勧誘」が、全ての回答区分で5割を超えています。また、「災害報道などで必要性を感じた」は郵送回答で約1割となっています。一方、「加入していない」はQR回答が多くなっています。



◆Q2. お住まいの地域での町会の活動について、どう思いますか。(1つ選択)

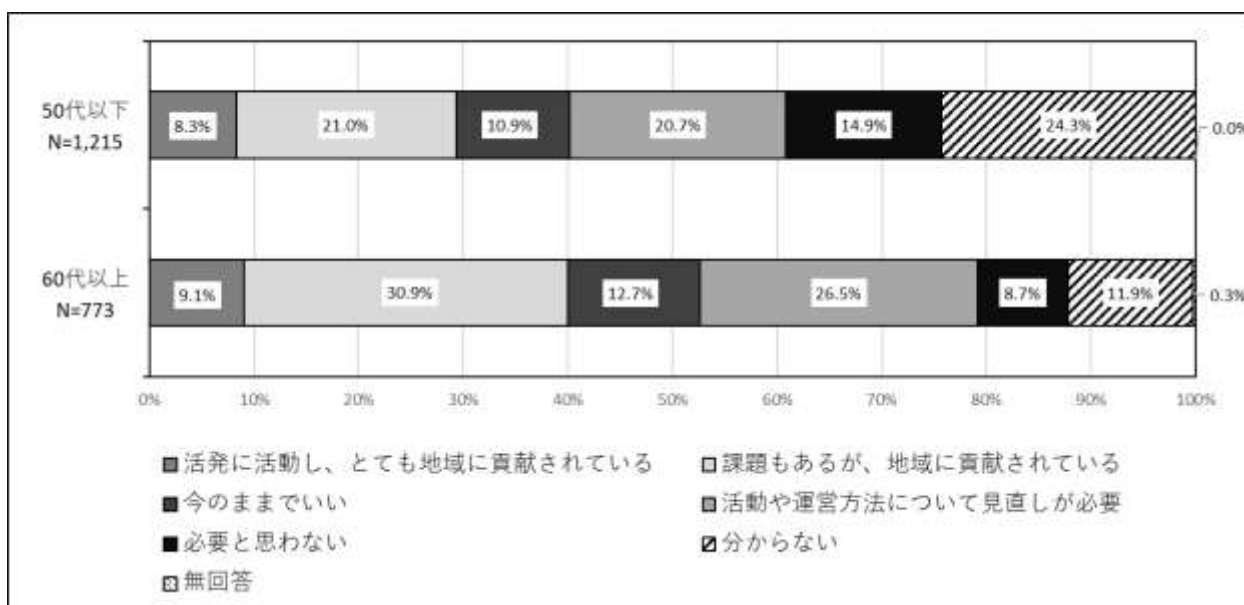
1. 活発に活動し、とても地域に貢献されている
2. 課題もあるが、地域に貢献されている
3. 活動や運営方法について見直しが必要
4. 必要と思わない
5. 今のままでいい
6. 分からない

「今のままでいい」を含む肯定的な回答は5割弱で、「活動や運営方法について見直しが必要」も含めた回答は約7割となっています。「必要と思わない」は1割強となっています。



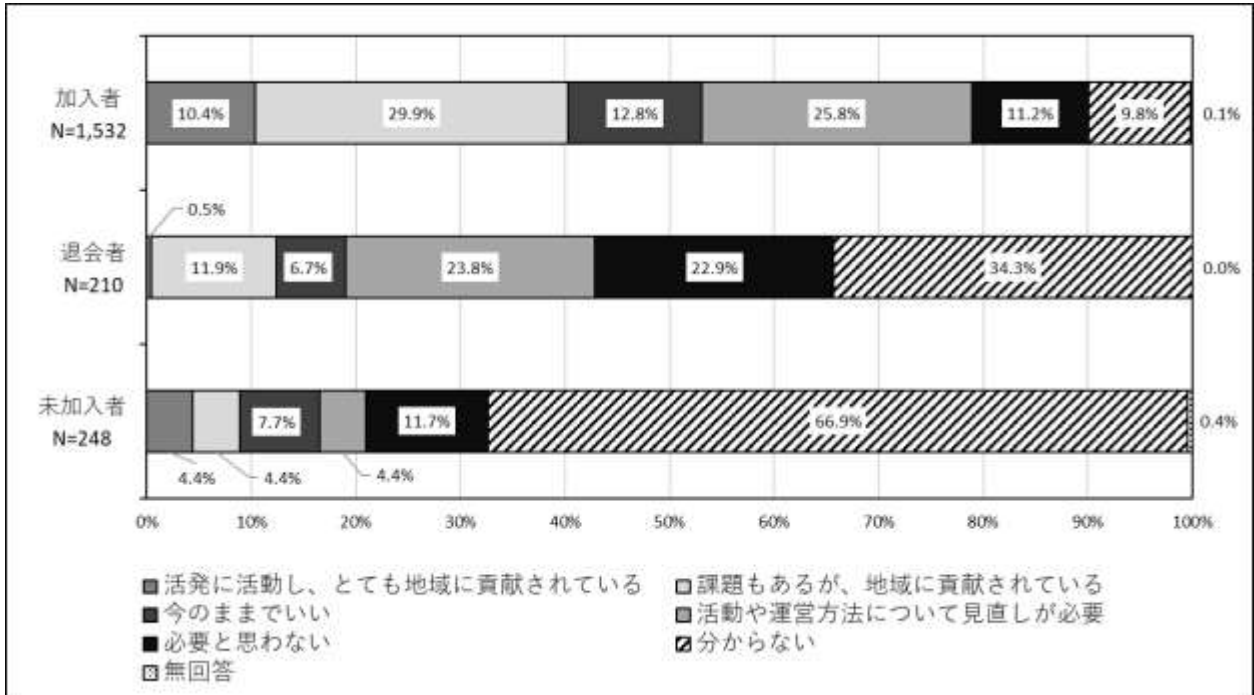
【年代別】

年代別で見ると、50代以下では「分からない」の割合が最も高くなっています。また、「今のままでいい」を含む肯定的な回答及び「活動や運営方法について見直しが必要」を含めた回答は、50代以下では約6割、60代以上では約8割で、「課題もあるが、地域に貢献されている」の割合が最も高く、次いで、「活動や運営方法について見直しが必要」の割合も高くなっています。



【加入状況別】

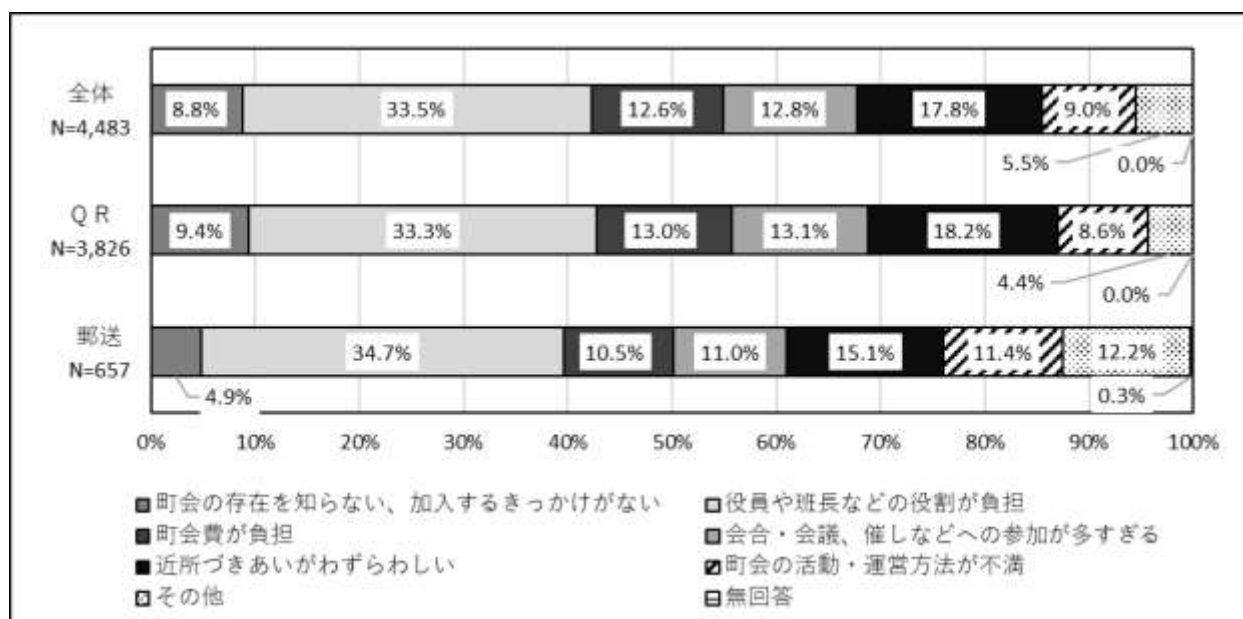
加入状況別でみると、加入者では、「課題もあるが、地域に貢献されている」の割合が高くなっており、「活動や運営方法について見直しが必要」の割合も高くなっています。一方、退会者では「必要と思わない」、「分からない」が6割弱となっている他、未加入者では、「分からない」の割合が最も高く、「必要と思わない」を合わせると8割弱となっています。



◆Q3. 町会からの退会や未加入者が増えている理由は何だと思いますか。(複数選択可)

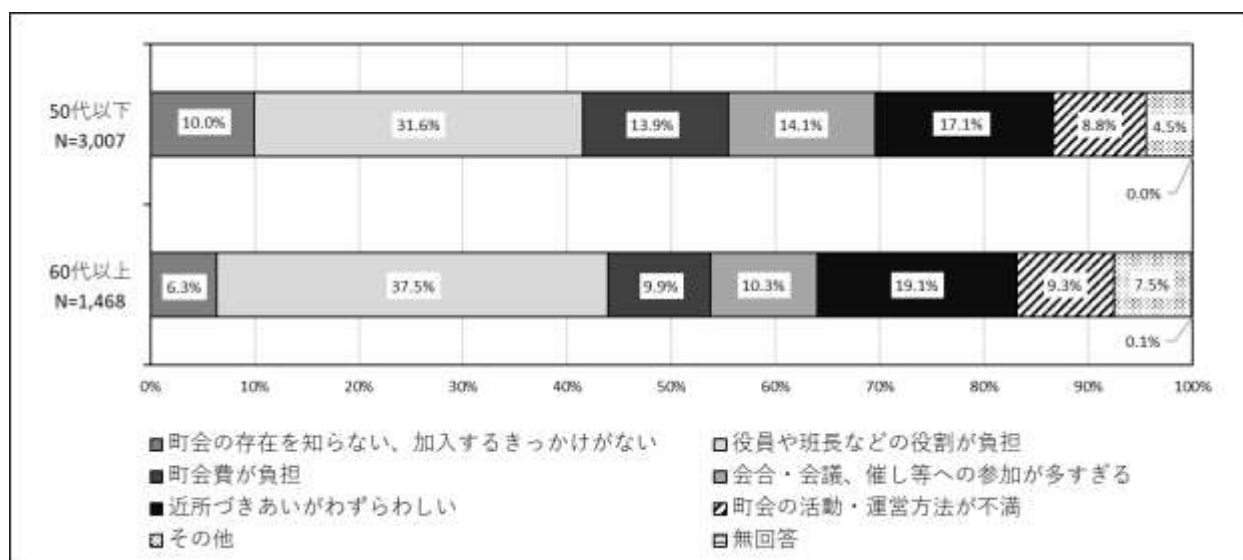
1. 町会の存在を知らない、加入するきっかけがない
2. 役員や班長などの役割が負担
3. 町会費が負担
4. 会合・会議、催しなどへの参加が多すぎる
5. 近所づきあいがわずらわしい
6. 町会の活動・運営方法が不満
7. その他

いずれの回答区分も「役員や班長などの役割が負担」、「町会費が負担」「会合・会議、催しなどへの参加が多すぎる」の割合が約6割となっており、特に、3割強が「役員や班長などの役割が負担」と回答しています。



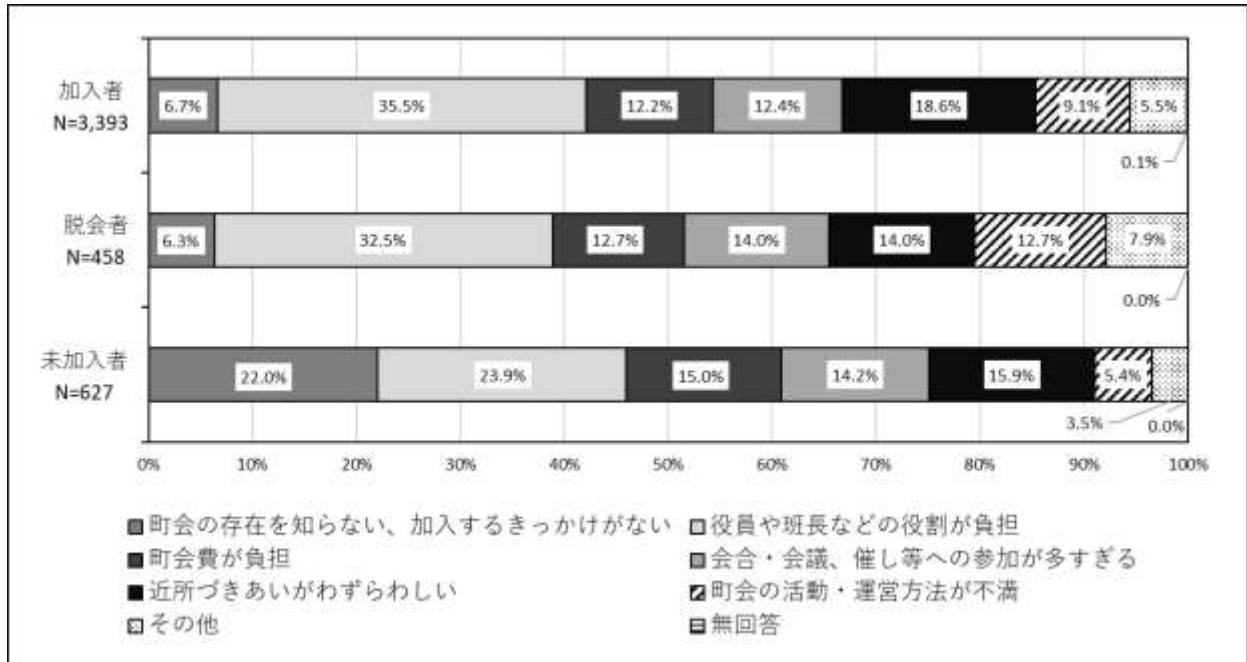
【年代別】

年代別で見ると、50代以下及び60代以上ともに「役員や班長などの役割が負担」の割合が最も高くなっています。次いで、50代以下及び60代以上ともに「近所づきあいがわずらわしい」の割合が高くなっています。また、50代以下では1割が「町会の存在を知らない、加入するきっかけがない」と回答しています。



### 【加入状況別】

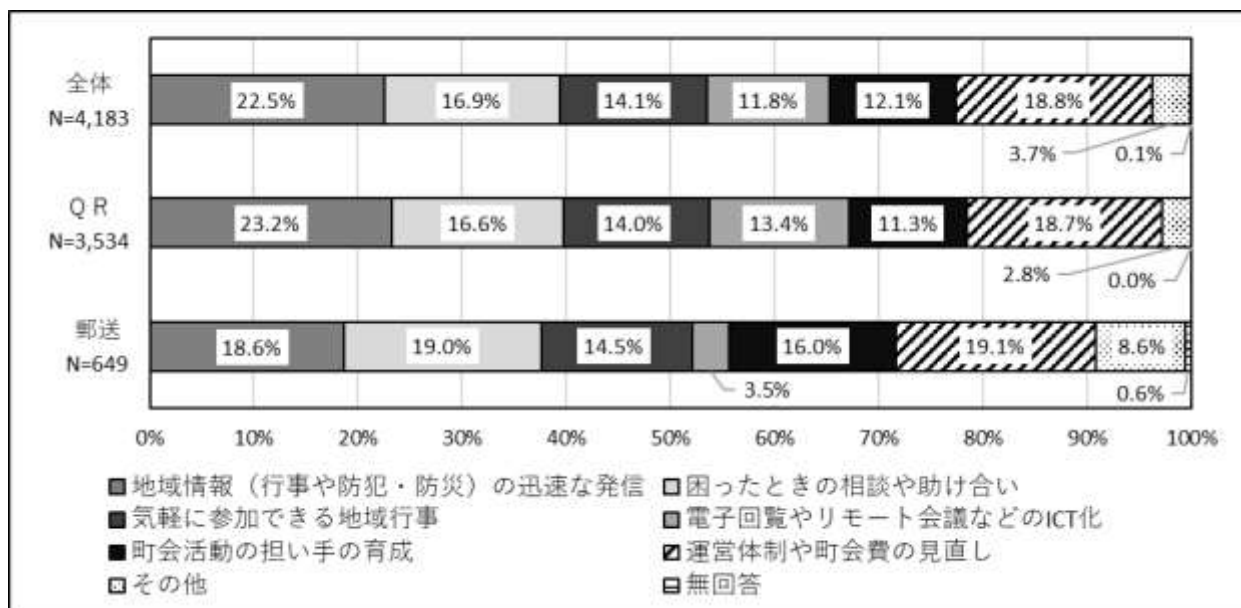
加入状況別でみると、加入者、退会者及び未加入者すべてにおいて、「役員や班長などの役割が負担」の割合が最も高くなっており、加入者では退会者・未加入よりも高く4割弱となっています。また、未加入者では「町会の存在を知らない、加入するきっかけがない」の割合が2割強と加入者、退会者よりも高くなっています。



◆Q4. 今後の町会活動はどこに力を入れればいいと思いますか。(複数選択可)

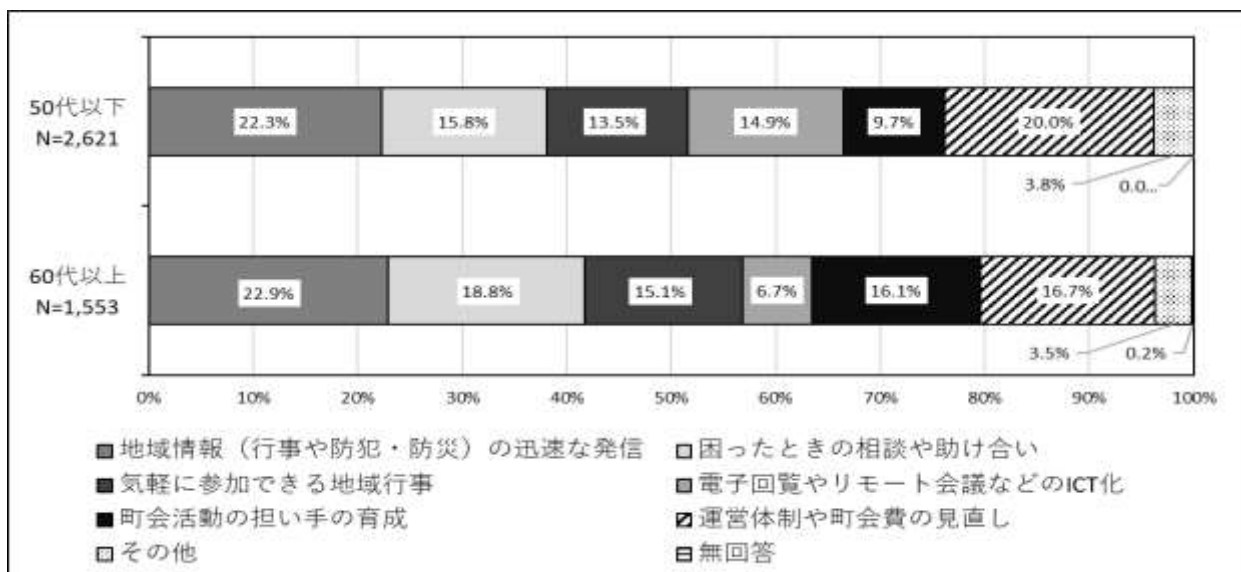
1. 地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信
2. 困ったときの相談や助け合い
3. 気軽に参加できる地域行事
4. 電子回覧やリモート会議などのICT化
5. 町会活動の担い手の育成
6. 運営体制や町会費の見直し
7. その他

いずれの回答区分も「地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信」や「困ったときの相談や助け合い」、「運営体制や町会費の見直し」が高い回答率となっています。また、「電子回覧やリモート会議などのICT化」の回答率は、QR回答では1割強であるのに対し、郵送回答では1割未満となっており、「町会活動の担い手の育成」の回答率は郵送回答では2割弱であるのに対し、QR回答では1割強となっています。



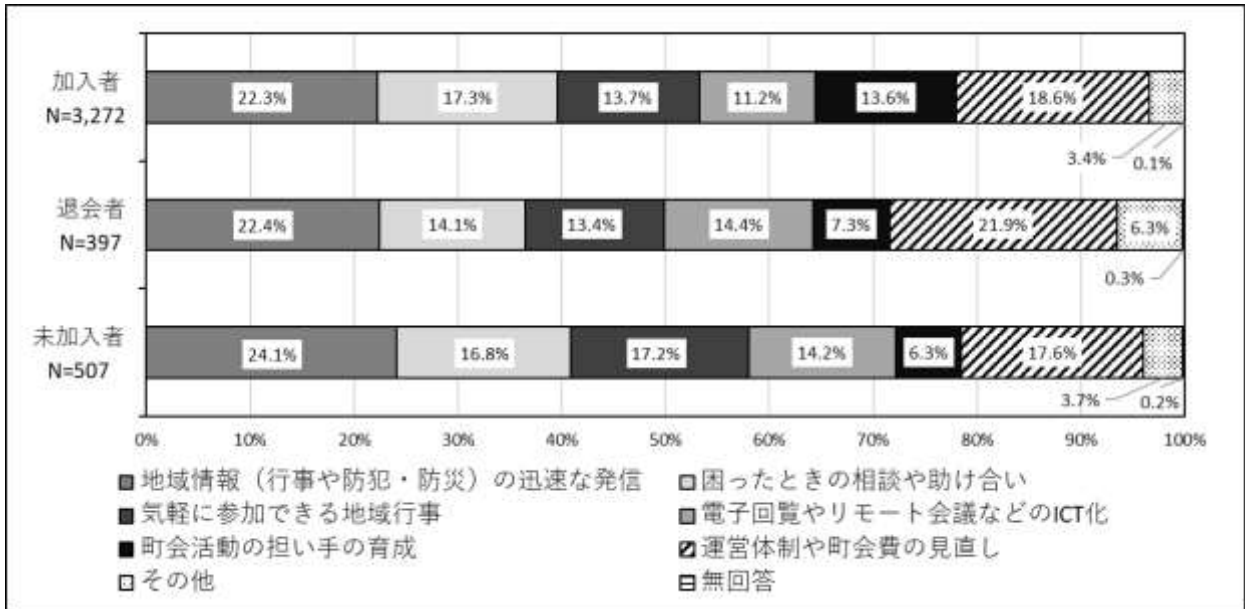
【年代別】

年代別でみると、50代以下及び60代以上ともに「地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信」の割合が最も高く、次いで回答率の高い項目は、50代以下では「運営体制や町会費の見直し」、60代以上では「困ったときの相談や助け合い」となっています。



【加入状況別】

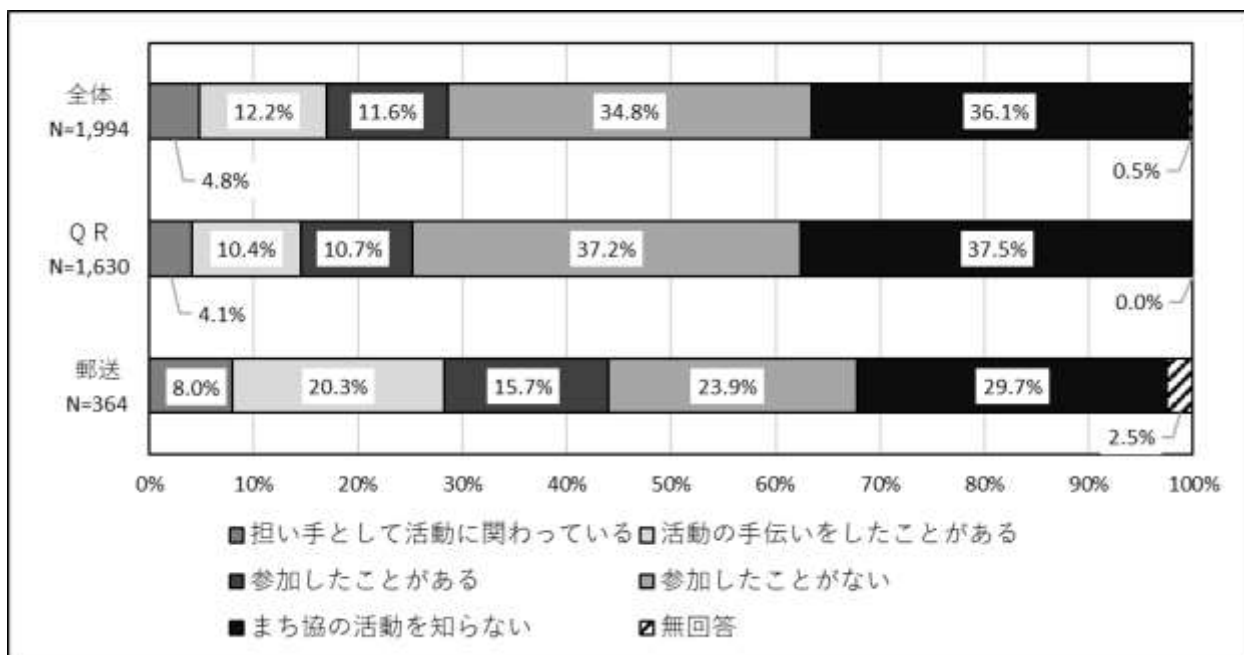
加入状況別でみると、加入者、退会者及び未加入者すべてにおいて、「地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信」の割合が最も高く、次いで、「運営体制や町会費の見直し」となっています。さらに、加入者では、「困ったときの相談や助け合い」、退会者では「電子回覧やリモート会議などのICT化」、未加入者では「気軽に参加できる地域行事」の割合が高くなっています。



◆Q5. まち協の活動に参加したことがありますか。(1つ選択)

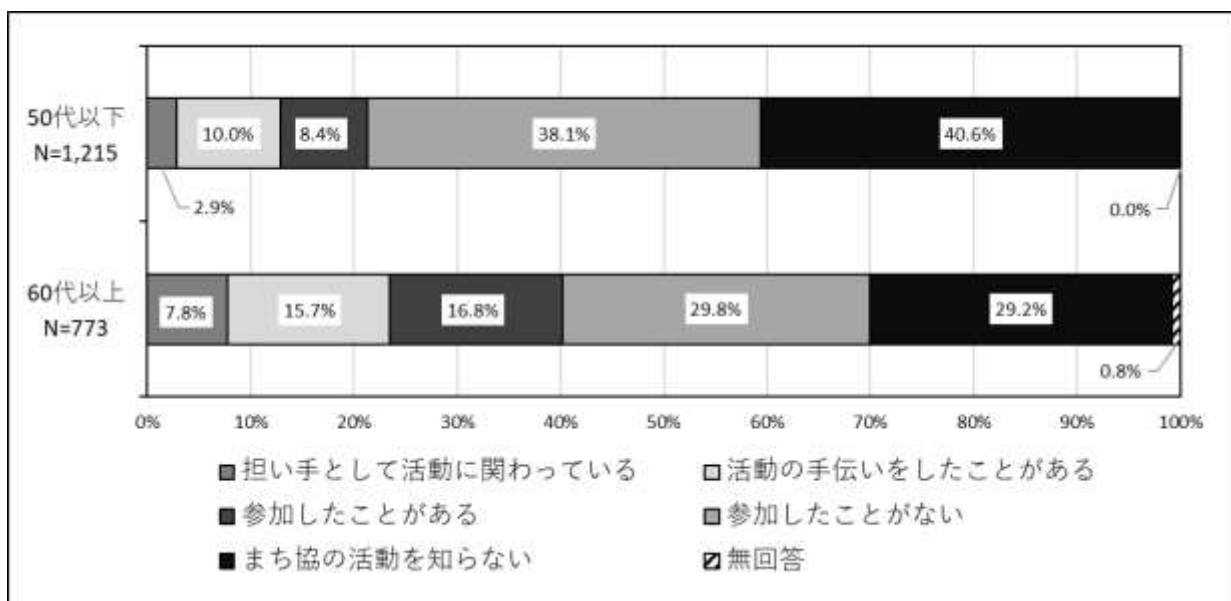
1. 担い手として活動に関わっている    2. 活動の手伝いをしたことがある  
3. 参加したことがある    4. 参加したことがない    5. まち協の活動を知らない

全ての回答区分で「まち協の活動を知らない」が最も高くなっており、次いで「参加したことがない」が高くなっています。郵送回答では「担い手として活動に関わっている」「活動の手伝いをしたことがある」「参加したことがある」の割合が4割強で、QR回答では2割強の回答となっています。



【年代別】

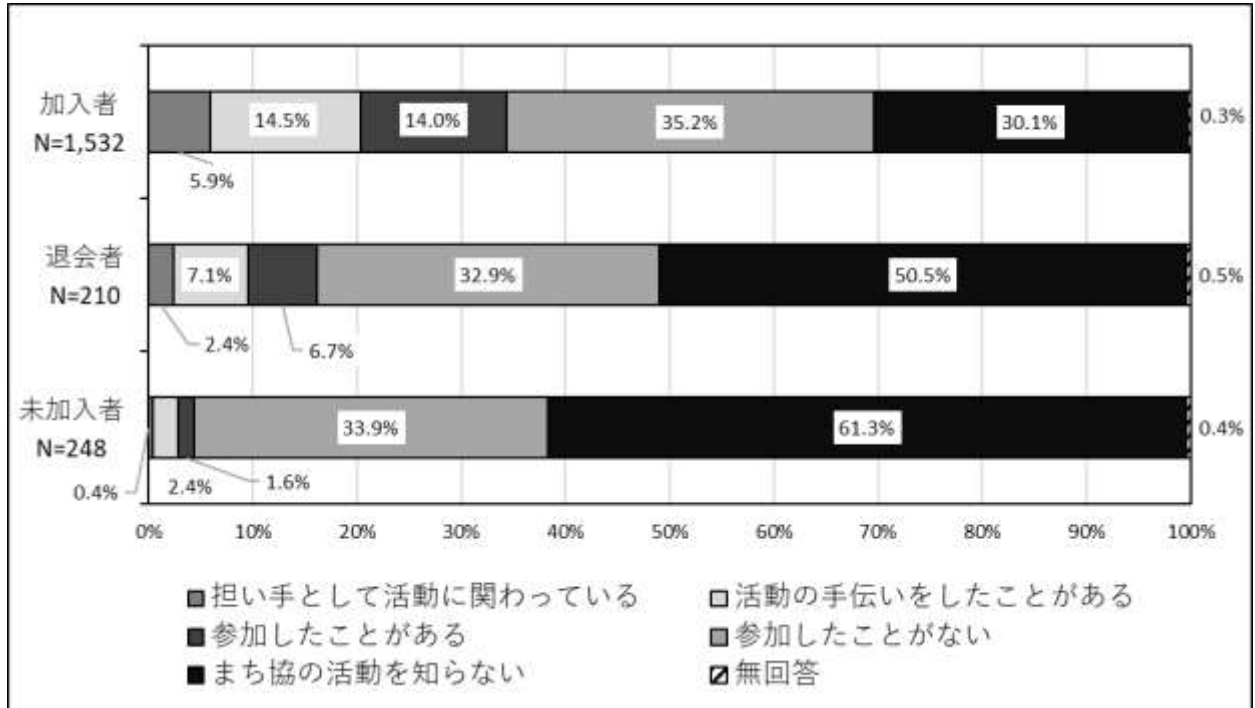
年代別でみると、50代以下及び60代以上ともに「まち協の活動を知らない」、「参加したことがない」の割合が高くなっており、50代以下では8割弱、60代以上では6割弱となっており、50代以下の方がその傾向がより強くなっています。





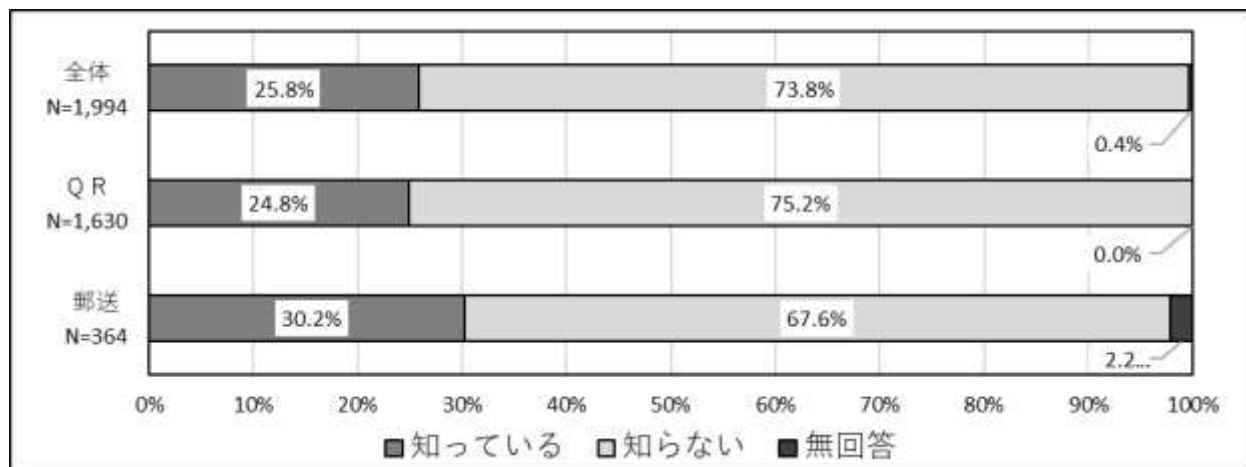
【加入状況別】

加入状況別でみると、「参加したことがない」、「まち協の活動を知らない」の割合は、加入者では7割弱、退会者では8割強、未加入者では9割強となっています。また、加入者において、「担い手として関わっている」「活動の手伝いをしたことがある」の割合は2割となっています。



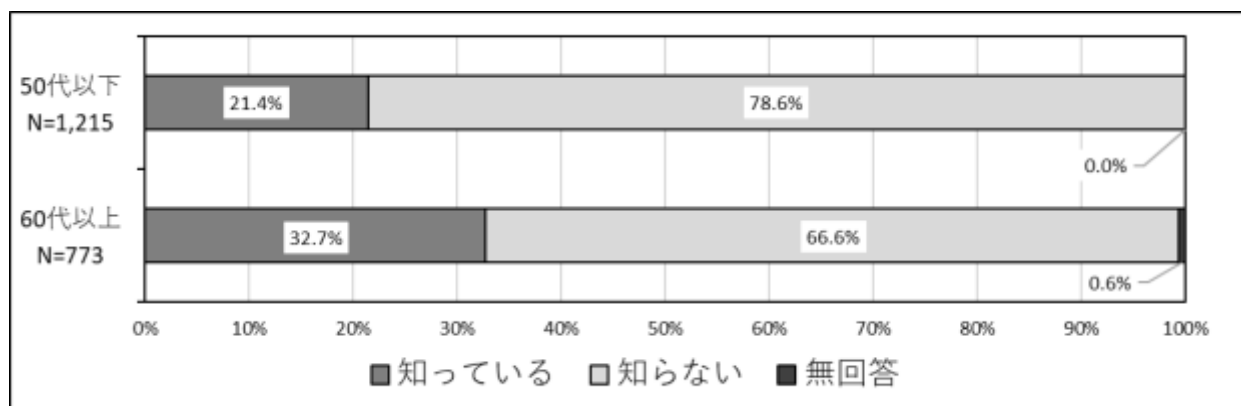
◆Q 6. まち協では、さまざまな活動をするために校区まちづくり交付金を活用していることを知っていますか。(1つ選択)  
 1. 知っている 2. 知らない

全ての回答区分において、7割程度の方が交付金を活用していることを「知らない」と回答しています。QR回答に比べ、郵送回答の方が「知っている」と回答した割合が高くなっています。



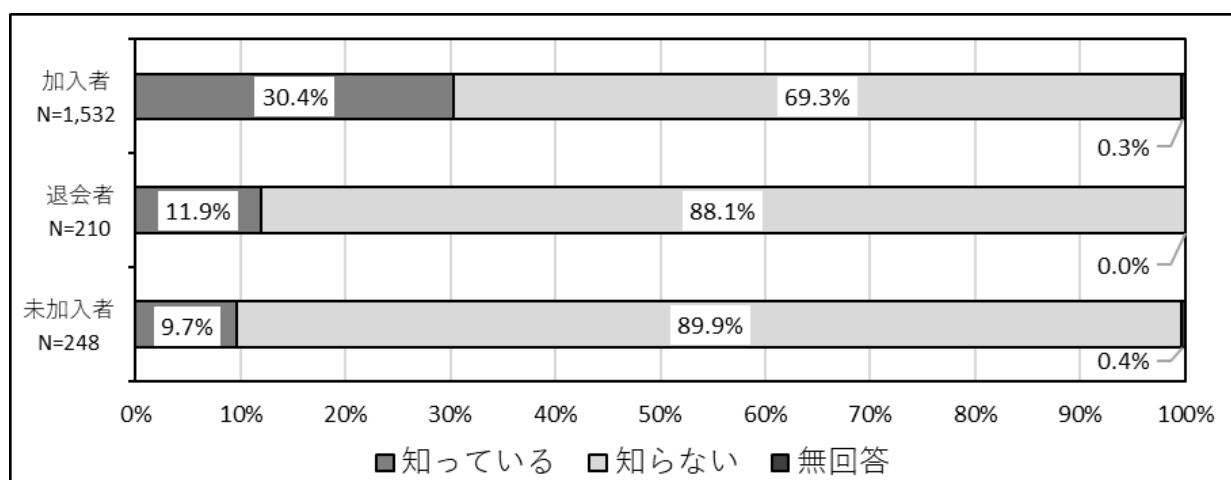
【年代別】

年代別でみると、50代以下及び60代以上ともに「知らない」と回答した割合が高くなっていますが、60代以上では「知っている」と回答した割合は3割強と50代以下よりも高くなっています。



【加入状況別】

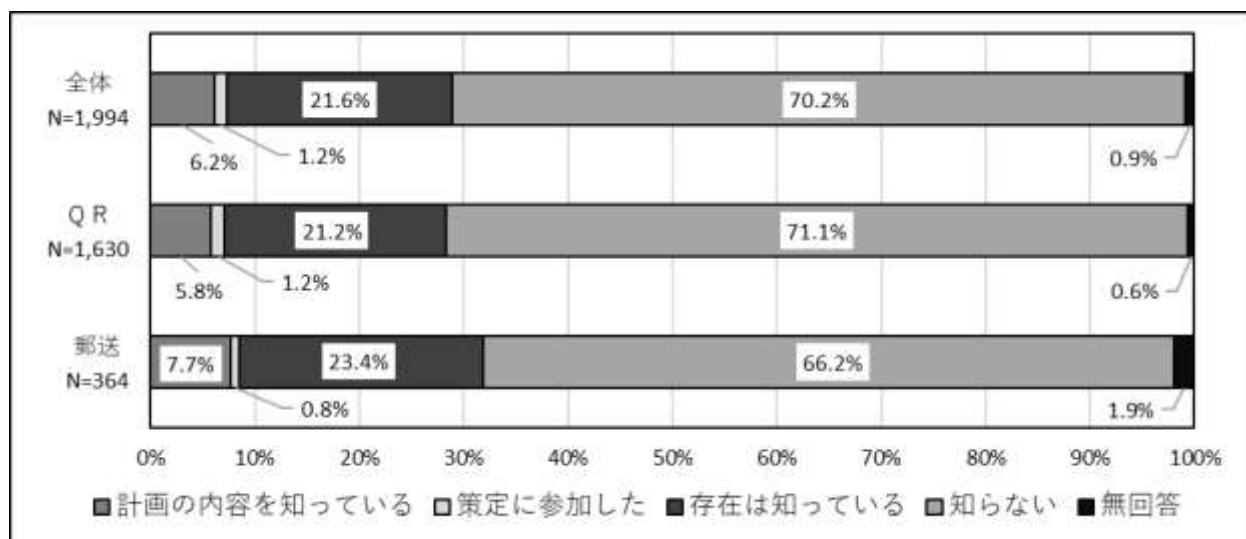
加入状況別でみると、すべてにおいて「知らない」の割合が最も高くなっています。なお、加入者は7割弱が、退会者及び未加入者は9割弱が「知らない」と回答しています。



◆Q7. まち協ではなりたいまちの姿を描いた「わがまち推進計画」がつけられていることを知っていますか。(1つ選択)

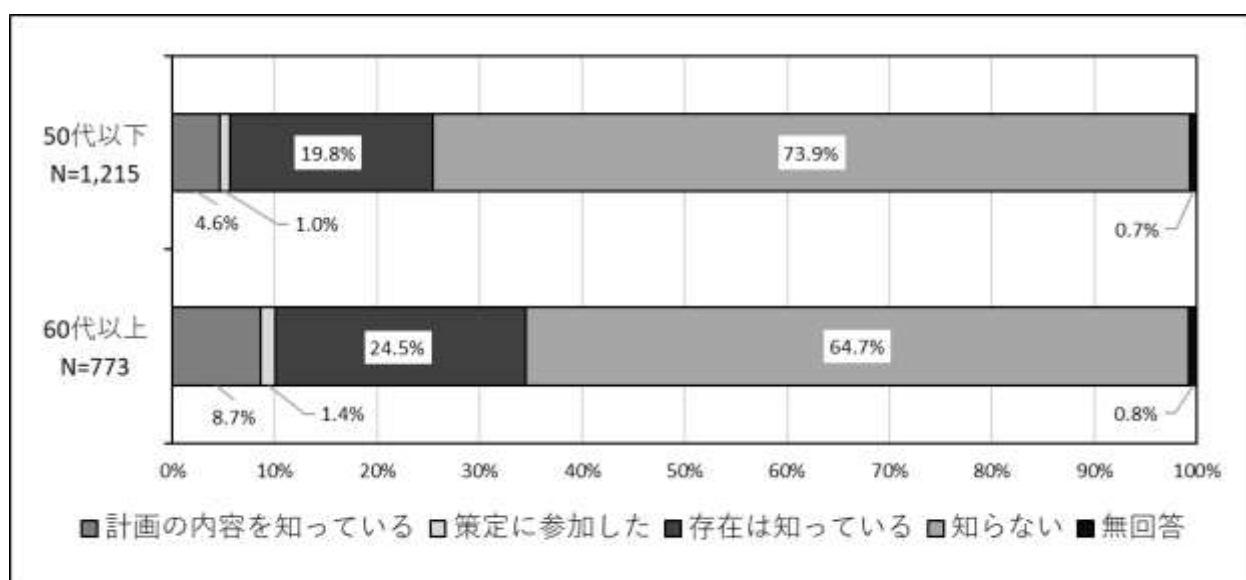
1. 計画の内容を知っている
2. 策定に参加した
3. 存在は知っている
4. 知らない

すべての回答区分で、「知らない」の割合が約7割と最も高く、「策定に参加した」割合は約1%にとどまっています。



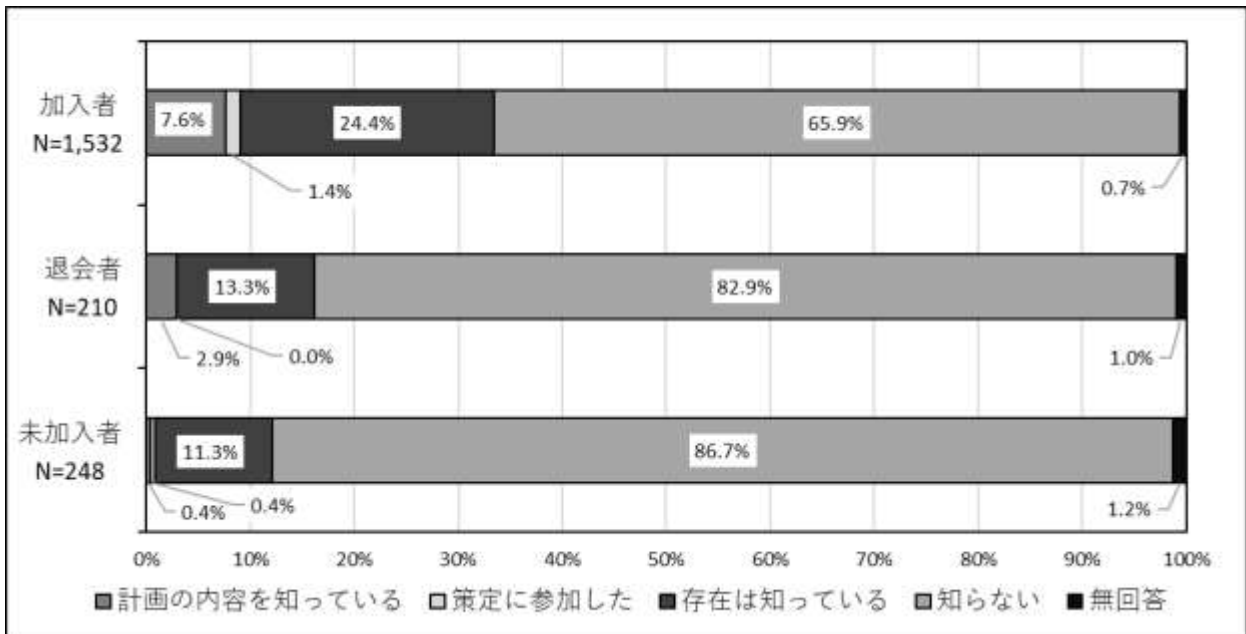
【年代別】

年代別で見ると、50代以下及び60代以上ともに「知らない」と回答した割合は約7割と高くなっていますが、60代以上では「存在は知っている」割合は2割強と50代以下よりも高くなっています。



### 【加入状況別】

加入状況別でみると、すべてで「知らない」の割合が最も高くなっており、加入者では6割強、退会者では8割強、未加入者では9割弱が「知らない」と回答しています。また、「策定に参加した」加入者では約1%であるのに対し、退会者、未加入者ではほとんど回答がありませんでした。



## ◆全体考察

本調査は、全戸配布される市政だよりの利点を活かして、市民の皆さまに町会・自治会やまち協の活動をお知らせするとともに、これからの地域コミュニティについて、自分事として今一度考えていただく機会とするために実施しました。今般の市政だよりを活用したアンケートの手法は本市初の試みでしたが、市政・地域コミュニティへの関心が高い方からご回答いただいたものと推測されます。

回答の傾向として、戸建て住宅にお住まいで町会加入されている方からの回答が多く、QR回答は年代が分散していますが、郵送回答は70代以上の町会加入者からの回答が多くありました。

町会加入については、退会・未加入者が増える理由として、回答者の年代や町会・自治会への加入・未加入に関わらず、「役員や班長などの役割が負担」「町会費が負担」「会合・会議、催しなどへの参加が多すぎる」などの負担についての回答が約6割であり、特に、「役員や班長などの役割が負担」が最多であったことから、役員などの役割分担の見直しや町会費、会議やイベントのあり方など、持続可能な町会運営ができるよう様々な見直しが必要と考えられます。また、未加入世帯では「町会の存在を知らない、加入するきっかけがない」と回答された割合が最も高く、50代以下では1割の人が「町会の存在を知らない、加入するきっかけがない」と回答されていることから、未加入世帯や若い世代が活動を知り、参加できる機会をつくっていくことが必要と考えられます。

町会活動に期待することは、「地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信」「困ったときの相談や助け合い」「気軽に参加できる地域行事」の回答割合が高く、町会活動の継続が求められていますが、「電子回覧やリモート会議などのICT化」「町会活動の担い手の育成」「運営体制や町会費の見直し」の割合も高くなっており、これまでの活動を維持・継続するだけでなく、今後、新たな手法の活用や従来の運営方法の見直しを進めていく必要があると考えられます。

まち協については、町会加入者であっても活動へ参加していない方も多く、まち協の活動が知られていないことが見て取れます。まち協の構成団体には、町会・自治会も含まれるため、町会加入者を対象に、まち協の啓発活動や、気軽に参加いただける機会を増やしていくことが必要となります。特に、若い世代や子育て世代に対しては、働いていても参加しやすい環境づくりを心掛け、子どもをターゲットとした取り組みを増やし、負担感なく活動に関っていただける仕掛けが必要であると考えられます。また、まち協は、すべての地域住民が構成員です。この特性を活かして、町会加入の呼びかけを行うなど、まち協の認知度向上や町会への加入促進に新たな可能性を拓く取り組みを検討していくことも必要です。

### Ⅲ. 自由記述

◆その他のご意見等、ご自由にお書きください。

表自由意見（自由記述）

分類		件数
1	町会活動に関すること	29
2	役員等の役割に関すること	20
3	防犯・防災に関すること	12
4	町会費に関すること	8
5	まち協に関すること	8
6	啓発活動に関すること	6
7	退会に関すること	6
8	デジタル化に関すること	3
9	環境美化に関すること	2
10	寄附・募金に関すること	2
11	ごみ袋に関すること	2
12	子どもに関すること	1
13	行政への意見に関すること	15
14	アンケートに関すること	3
総計		117

自由意見の内容について、分類ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示します。

1	町会活動に関すること 29件	件数
	町会活動の充実や見直しをしてもらいたい	13
	活動が負担になっている	12
	強制的な加入はやめてほしい	2
	役員等を有償ボランティアにしてもらいたい	1
	マンション内で町会を作りたい	1

2	役員等の役割に関すること 20件	件数
	役員や班長等の役が担えない	14
	役員は透明性の高い運営をしてほしい	4
	活動の担い手の育成が必要	2

3	防犯・防災に関すること 12件	件数
	防犯灯や防犯カメラをもっと付けてもらいたい	6
	防犯や防災の活動を充実してもらいたい	3
	防犯灯の電気料金は町会で払いたくない	3

4	町会費に関すること 8件	件数
	会費の運用状況等を公開してほしい	6
	使わなかった会費は、返還してほしい	1
	どの町会も町会費を一律にしてほしい	1

5	まち協に関すること 8件	件数
	P R動画をみる手段がない	1
	P R動画で地域の情報発信があり、ありがたかった	1
	まち協の実績を教えてほしい	1
	交付金使用の幅を広げてほしい	1
	まち協、交付金の事を知らない人が多いので、もっと発信してほしい	2
	町会をまち協の活動として、小学校区1本化にしてほしい	1
	福祉委員会とまち協の違いを教えてほしい	1

6	啓発活動に関すること 6件	件数
	加入促進の情報発信を増やしてほしい	2
	町会に入るのが当たり前にしてほしい	1
	掲示板があるので、回覧板は不要	1
	回覧板の広告に不適切なものがある	1
	積極的に町会加入促進活動を進めてほしい	1

7	脱退に関すること 6件	件数
	脱退者へのペナルティをつけてほしい	1
	高齢や役員を担うのが難しく、脱退した(したい)	5

8	デジタル化に関すること 3件	件数
	災害情報等、必要な情報は、市政だよりやインターネット等から、情報は得られる	2
	一部連絡をデジタルでしている町会はあるが、町会の決め事は、集まって話し合った方がいい	1

9	環境美化に関すること 2件	件数
	地域の清掃は、各々が家の前を清掃すればいい	1
	粗大ゴミや大量のペットボトル、生活ごみの不法投棄に困っている	1

10	寄附・募金に関すること 2件	件数
	神社への寄付金集めをやめてほしい	1
	募金をやめてほしい	1

11	ごみ袋に関すること 2件	件数
	ごみ袋の配布が重荷である	1
	ごみ袋は市から配布してほしい	1

12	子どもに関すること 1件	件数
	各町会で子どもが集まって楽しめる場を作ってほしい	1



13	行政への意見に関すること 15件	件数
	より市民がくらしやすい市にしてほしい	8
	町会は行政が主体となって運営する必要がある	2
	市民の悩みを知る機会として、議員・公務員は、年6回以上のボランティア活動をしてほしい	1
	市政だよりの配布業務を町会に戻してもらいたい	2
	市政だよりを毎号楽しみにしている	1
	行政側の町会加入促進について知りたい	1

14	アンケートに関すること 3件	件数
	よいアンケート方法であった	1
	アンケート用紙をもっと見やすく、提出しやすいようにしてほしい	1
	封書回答でもプレゼント応募に参加できるようにしてほしい	1

IV. 調査票（市政だより10月号〔令和4年9月20日発行号〕及び市ホームページ掲載内容）

Notice from the Yao city

●費用の記載がないものは無料 ●申込方法は原則「窓口・電話・FAX」、別に記載がある場合はその方法のみ、「可」とある場合は「窓口・電話・FAX」に加えてその方法 ●Eメールでの申込みが可能なものは市ホームページを参照 ●市内局番が「9」で始まる地域の市外局番「072」は省略

## 町会・まち協に関するアンケートにご協力ください

町会加入・未加入に関わらず、どなたでも回答できます（1人1回）

**町会に加入する（した）きっかけは何ですか。（複数選択可）**

Q1 1.親の世代から加入している 2.町会長や班長・組長からの勧誘 3.地域イベントなどへの参加 4.災害報道などで必要性を感じた 5.マンション入居時などでの案内 6.加入していない 7.その他

Q3 町会からの退会や未加入者が増えている理由は何だと思いますか。（複数選択可）

1.町会の存在を知らない、加入するきっかけがない 2.役員や班長などの役割が負担 3.町会費が負担 4.会合・会議、催しなどへの参加が多すぎる 5.近所づきあいがわずらわしい 6.町会の活動・運営方法が不満 7.その他

**お住まいの地域での町会の活動について、どう思いますか。（1つ選択）**

Q2 1.活発に活動し、とても地域に貢献されている 2.課題もあるが、地域に貢献されている 3.活動や運営方法について見直しが必要 4.必要と思わない 5.今のままでいい 6.分からない

Q4 今後の町会活動はどこに力を入れればいいと思いますか。（複数選択可）

1.地域情報（行事や防犯・防災）の迅速な発信 2.困ったときの相談や助け合い 3.気軽に参加できる地域行事 4.電子回覧やリモート会議などのICT化 5.町会活動の担い手の育成 6.運営体制や町会費の見直し 7.その他

（裏面につづく）

のりしろ（内側に折る）

山折り

料金受取人払郵便

八尾郵便局

2058

送付有効期間  
2022年12月  
31日まで

5 8 1 - 8 7 9 0

山折り

（受取人）

八尾市本町一丁目1番1号

八尾市役所本館3階

コミュニティ政策推進課 行

山折り

のりしろ（内側に折る）

きりとり線

アンケートの回答方法

以下の①②いずれかの方法で回答してください。

①封書による回答

1. きりとり線にあわせて封書を切り取ります。
2. 裏面に回答を記入します。
3. 「のりしろ」部分にのりをつけ、封書の形に折って貼り付けてください。
4. 切手を貼らずにポストへ投かんしてください。

②インターネットによる回答

スマートフォンから、右のQRコードを読み取って回答してください。

インターネットで回答した方の中から  
抽選で10名に図書カード1000円分を  
プレゼント!

※調査結果については、統計的に処理し、調査の目的外には一切使用いたしません。

13 やお市政だより 令和4年10月号

きりとり線

※9月1日時点の情報です。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、内容が変更となる場合がありますので事前にご確認ください。

## 校区まちづくり協議会（まち協）を知っていますか？

まち協は、地域住民が協力して、住みやすいまちをつくるために、地域の未来や、身近な地域の課題について話し合い、課題の解決に向け活動する組織で、市内28のすべての小学校区で設立されています。

対象校区の住民、通勤・通学している人、事業をしている人などすべての人が対象です。



## PR動画の紹介

まち協では、防災や子ども・高齢者の見守りなどに取り組まれています。お住まいの地域のまち協の動画をぜひご覧ください。また、今年度に各まち協で取り組まれる「わがまち推進計画」の策定に参加してみませんか。



### まち協の活動に参加したことがありますか。(1つ選択)

- Q 1. 担い手として活動に関わっている 2. 活動の手伝いをしたことがある 3. 参加したことがある 4. 参加したことがない 5. まち協の活動を知らない

### まち協では、さまざまな活動をするために校区まちづくり交付金を活用していることを知っていますか。(1つ選択)

- Q 6 1. 知っている 2. 知らない

### まち協ではなりたいまちの姿を描いた「わがまち推進計画」がつくられていることを知っていますか。(1つ選択)

- Q 7 1. 計画の内容を知っている 2. 策定に参加した 3. 存在は知っている 4. 知らない

>< きりとり線

----- 谷折り -----

**町会・まち協に関する アンケート回答用紙**

1. 回答いただく方について以下の項目にお答えください。

●性別 (任意) ( 男 ・ 女 )

●年代 (O印は1つ) 1. 20代以下 2. 30代

3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代

7. 80代以上

●町会の加入歴 (O印は1つ) 1. 5年未満

2. 5~10年未満 3. 10~20年未満 4. 20~30年未満

5. 30年以上 6. 以前は加入していたが、今は加入していない

7. 加入したことがない

●お住まいの地域 (小学校区) ※不明な場合は町名

( ) 小学校区または ( ) 町

●お住まいの形態 (O印は1つ)

1. 戸建て (分譲) 2. 戸建て (賃貸)

3. 集合住宅 (分譲) 4. 集合住宅 (賃貸)

5. その他 ( )

2. 市政日より 13、14 ページの設問項目の回答 (O印、その他は内容) は下記にご記入ください。

●Q1 1 2 3 4 5 6

7 その他

●Q2 1 2 3 4 5 6

●Q3 1 2 3 4 5 6

7 その他

●Q4 1 2 3 4 5 6

7 その他

●Q5 1 2 3 4 5

●Q6 1 2

●Q7 1 2 3 4

その他のご意見等、ご自由にお書きください。

アンケートについては、個人や地域団体等を傷つけることのないようご配慮ください。

**回答メ切 10月末まで(消印有効)**

<> きりとり線

----- 谷折り -----

記事内容の詳細は市ホームページをご覧ください。

■町会・まち協に関するアンケート報告書

令和5（2023）年3月発行（刊行物番号 R4-211）

発行者 八尾市人権ふれあい部コミュニティ政策推進課

〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-3827 Fax 072-992-1021